



冬季オリンピック・ミラノ大会が閉幕し、日本は過去最多のメダルを獲得しました。出場すること自体が難しい舞台上、全力を尽くす姿に大きな感動をもらい、競技を終えた選手たちのやりきった表情や姿に心を打たれました。今年度も残すところ1カ月を切りました。子どもたちは一年のまとめに取り組みながら、卒園式・卒業式に向けての準備も始めています。



スキー教室

1月30日(金)に第1回スキー教室(親子スキー)、2月13日(金)に第2回スキー教室、そして2月20日(金)に第3回スキー教室を行いました。3回とも雪の量に恵まれ、さまざまなコースを滑ることができました。スキー場の方からは「いいコンディションでスキー教室ができますね。楽しんでください」と声をかけていただきました。3回の教室を通して、子どもたちは指導者の話をよく聞き、スキーの技術を着実に向上させていきました。難しいコースにも果敢にチャレンジし、頂上から滑り降りられるようになったり、中央グレンデや野間グレンデを滑りきれるようになったり、スキー板をきれいにそろえて滑ることができるようになったりと、大きな成長が見られました。地元にはスキー場があって、雄大な景色を楽しみながらスキーをすることができます。子どもたちは、素晴らしい自然の中で生まれ育っていることを改めて実感できたと思います。スキー場から見た景色は、きっとふるさとの原風景として心に残ることでしょう。

ご指導いただいたスポーツクラブ21 うづかの坂本さん、板坂さん、岡田さん、ゲストティーチャーの今井元子先生、そして保護者の皆様、ありがとうございました。



第1回スキー教室



第2回スキー教室



第3回スキー教室

環境体験学習

2月3日（火）、3年生が環境体験学習で兔和野高原へ行って、スノーシュー体験をしました。講師は、兔和野高原野外教育センターの西田さんです。当日は十分な積雪があり、普段は歩けない場所にも足を踏み入れることができました。また、普段なら手の届かない木の枝にも触れることができ、子どもたちは大喜びでした。冬の静けさに包まれた森の中を歩くと、鳥のさえずりが響き渡り、雪上の足跡などから動物たちの暮らしを垣間見ることができました。大自然の中で、私たち人間も動物たちと共に生きていることを実感する体験となりました。冬の兔和野の魅力をたっぷりと味わうことができた一日でした。



祖父母に学ぶ会

2月27日（金）、1年生が祖父母を招いて「祖父母に学ぶ会」を行いました。羽子板、コマ回し、けん玉、あやとりなど、昔ながらの遊びを教えてくださいました。お手玉では、校歌を歌いながら一緒に楽しみ、歌に合わせたリズムが生まれ、楽しさも倍増しました。ゲーム機とは違い、人と人が直接ふれ合いながら遊ぶ喜びを味わうことができ、子どもたちにとって貴重な体験となりました。



卒業に向けた「ありがとうプロジェクト」

6年生は、これまでお世話になった学校をきれいにしたり、関わってくださった方々に感謝の気持ちを伝えたり、下級生と交流したりするありがとうの気持ちを伝えるプロジェクトに取り組んでいます。写真は、2月18日に行われた1年生との交流の様子です。卒業を間近に控えた今、6年生は一日一日を大切に過ごしながらか、6年間の思い出を胸に、中学校への階段を一步步と登ろうとしています。



ALTの先生の紹介

これまで英語をわかりやすく丁寧に教えてくださったALTのブライアン先生ですが、このたび母国へ帰国されることになりました。お世話になりました。ありがとうございました。2月から、レイモンド先生が着任され、英語の指導をいただいています。出身はアメリカ合衆国です。どうぞよろしく願います。

